第32回

全国棚田（千枚田）サミット

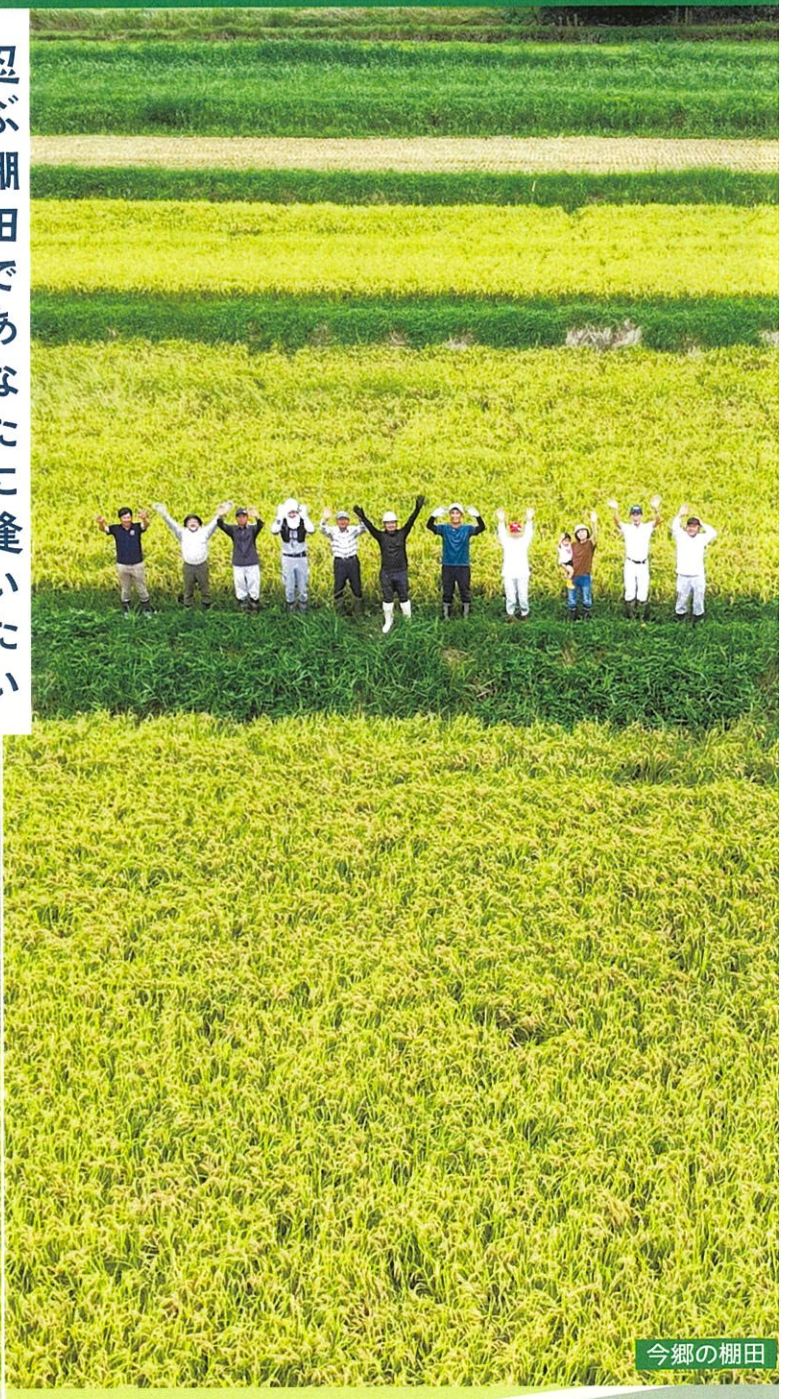
in こうか

日程 令和9年11月13日・14日　開催地 滋賀県甲賀市

忍ぶ棚田であなたに逢いたい



山女原の棚田



今郷の棚田

問合せ 第32回全国棚田（千枚田）サミット in こうか実行委員会（甲賀市産業経済部農業振興課内） TEL:0748-69-2193

甲賀市のつなぐ棚田遺産

山女原（あけびはら）の棚田

土山町

滋賀県甲賀市南東部に位置する山女原棚田では、山女原棚田ボランティア委員会を中心に、毎年5月、7月、10月に法面の草刈りなどの保全活動を実施しています。県内の大学や企業などから毎回約30名が参加し、地域の食材や遊休農地で栽培したオニグルミを使ったお菓子や食事が好評を得ています。クルミの生産量増加に伴い、集落の女性たちが加工品を地元の祭りなどで販売するようになり、地域の活性化にもつながっています。

また、夏には遊休農地にヒマワリなどを植栽して景観を整え、カブトムシの飼育施設を活用した交流も行っています。過疎化・高齢化が進む中、棚田保全活動を地域行事の一環として位置づけ、地域の魅力づくりと活性化に取り組んでいます。



DATA

棚田枚数	耕作面積	標高範囲
47枚	5ha	370m

今郷（いまごう）の棚田

水口町

甲賀市は、滋賀県の南端に位置し、南東は三重県、南西は京都府に接しています。棚田は市の中央の比較的交通の便に恵まれた自然豊かな地域にあります。このため、滋賀県職員の高齢化や獣害問題等の問題を考える近江地元学研修のフィールドとして活用されたり、「琵琶湖博物館」や「みなくちこどもの森自然館」の学芸員や滋賀県立大学と連携した自然観察会や岩上自治振興会のミニミニ講座を開催するなど豊かな自然を生かした様々な活動をしています。

また、地元企業と協働で棚田を横切る県道や市道周辺の草刈りと清掃作業を実施するなど、身近な棚田の自然環境を地域資源として、住民と地域が一体となり、棚田の維持・保全活動を行うとともに、環境学習の素材に活用しています。



DATA

棚田枚数	耕作面積	標高範囲
48枚	5ha	200m

茶園（頓宮大茶園（とんぐうだいちゃえん）・朝宮茶園（あさみやちゃえん））

土山町・信楽町

滋賀県甲賀市は、滋賀県産茶の約9割を生産する県内有数の茶産地で、市を代表する特産品となっています。市内には、気候や地形、栽培方法の異なる「土山茶」と「朝宮茶」の2つの産地があります。

土山茶は、なだらかな丘陵地が広がる土山地域で江戸時代から栽培され、東海道の宿場町では名物として親しまれてきました。大型の乗用機械を活用した栽培が特徴で、日光を遮って育てる、まろやかな味わいの「かぶせ茶」が多く生産されています。

一方、朝宮茶は約1200年前に栽培が始まったとされる、日本五大銘茶のひとつです。京都府との県境に近い山間の急傾斜地に茶園が広がり、大型機械の使用が難しいため、手間をかけて栽培されています。朝晩の厳しい冷え込みが、お茶の豊かな味わいを育むことも特徴です。



頓宮大茶園

朝宮茶園



DATA

茶園	耕作面積	生産量
頓宮	160ha	約550t/年
朝宮	90ha	約170t/年